

西向くサムライ

鎌倉幕府と豊前国

鎌倉時代—それは、武士が初めて武士として日本の統治を行った武家政権の時代です。治承4年(1180)、平家討伐のため源頼朝が挙兵しました。豊前国は平家の勢力下にあった宇佐八幡宮の支配下におかれていましたが、平家滅亡後、鎌倉幕府の御家人宇都宮信房が下向し、一族が根を張りました。宇佐八幡宮は依然として一大荘園領主でしたが、平家の没官領や承久の乱などの恩賞として、地頭職が武士たちに与えられ、その多くが九州=鎮西に向かいました。彼ら、鎮西を拠点とした幕府御家人を「鎮西御家人」とよびます。宇佐八幡宮と武士の間では土地支配をめくり争いが頻発します。そういった在地の相論を収めるため、幕府により鎮西探題が設置され、北条一族が派遣されました。そのような中で、蒙古襲来は鎮西御家人たちに大きな衝撃を与え、豊前の武士らも戦いや防衛に活躍しています。鎮西探題は元弘3年(1333)に鎌倉幕府が滅亡するまで、九州統治を行いました。本展覧会では、西へ向かった武士たちにスポットをあて、鎌倉幕府と豊前国の関係について展示紹介します。



「藤原頼朝袖判下文」国指定重要文化財・慶應義塾図書館



「俊仍律師像(模本)」泉涌寺

「宇都宮信房像」来迎院



「伝源頼朝像(模写)」京都市立芸術大学芸術資料館



「関東下知状」個人・東京大学史料編纂所寄託



モンゴル軍が放った「てっはう」が炸裂する場面と、鹿島海底で出土した「てっはう」

イベント (各300円 観覧料含む)

ギャラリートーク

- ① 9月19日(日)13:00~
- ② 10月2日(土)10:00~
- ③ 10月24日(日)13:00~
- ④ 11月3日(水・祝)13:00~

- 会場: 中津市歴史博物館展示室
- 要予約(定員各10名)

記念講演会

- ① 9月25日(土)13:00~14:30

「佐田文書の世界とその伝来」
井上 聡 氏(東京大学史料編纂所准教授)

- ② 10月30日(土)13:00~14:30

「泉涌寺俊仍将来の南宋僧院生活文化—羅漢図像をふまえて」
西谷 功 氏(泉涌寺心照殿学芸員)

- 会場: 新中津市学校 ● 要予約(定員各50名)

ワークショップ「自分の花押をつくってみよう」

- ① 10月2日(土)13:00~14:00
- ② 11月3日(水・祝)11:00~12:00

- 会場: 中津市歴史博物館 ● 要予約(定員各10名)

古文書解説講座

- ① 9月28日(火)17:00~18:30
- ② 10月26日(火)17:00~18:30

- 会場: 中津市歴史博物館 ● 要予約(定員各20名)



中津市歴史博物館

〒871-0057 大分県中津市1290番地(三ノ丁)

TEL (0979) 23-8615 / FAX (0979) 23-8616

開館時間: 9時~17時(入館は16時30分まで) / 駐車場: 22台

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)



<http://nakahaku.jp>